

〈研究主題〉

「主体的・対話的で深い学びを通して 教科のねらいに迫る授業づくり」

題材名 「言葉でリズムアンサンブルをつくろう」

1 題材の目標

- 反復や変化などの音楽の仕組みを用いてリズムアンサンブルをつくる。
- まとまりを意識した音楽をつくることについて思いや意図をもつ。
- 友達と協働してリズムアンサンブルをつくる学習に進んで取り組む。

2 題材について

本題材では、拍や拍子、リズムに対する感覚やそれを表現するための能力を伸ばしていくことに重点を置いた学習をしていく。4文字の言葉を素材として、反復や呼びかけとこたえ、変化、音の重なりなどを組み合わせるとまとまった長さのリズムアンサンブルをつくらせる。

拍を感じ、リズムにのって友達と気持ちを合わせて表現する活動は、歌唱や器楽の学習でも欠かせない要素である。

グループに分かれ、友達とアイデアを出し合いながら一つのリズムアンサンブルを作り、学級で聴き合う活動を通して、リズムアンサンブルの楽しさや、面白さを感じられるようにしたい。

3 児童の実態

こちらからの投げかけに対して興味をもって取り組もうとする児童が多い。個人差が大きく、学習活動の中でいろいろな気付きを見付けられる児童がいる一方で、技能面で個別の支援が必要な児童もいる。5～6人でのグループ活動の形をとり、教え合いや学び合いの場面を作り、どの児童も参加し、リズムアンサンブルを作り上げる楽しさを味わえるようにしたい。

4 主な活動と主体的・対話的で深い学びの取組

音楽科の目指す児童像「主体的に学習に取り組み、自分の表現をしようとする子」

第1時

- ・4文字の言葉を拡大したり縮小したりして、リズムの違いを感じ取る。
- ・反復や呼びかけとこたえ、変化、音の重なりなどについて理解し、それらを組み合わせるとまとまった長さのリズムアンサンブルを演奏する。

〈導入の工夫〉

- ・リズム打ちをしたときに言葉を重ねて行った活動を思い出させる。
- ・テーマを決めて、テーマに合った言葉を出させる。

〈具体的な学習活動の想定〉

- ・次時のアンサンブルづくりでつなげ方や重ね方の工夫ができるように、例示から理解を確実にさせる。

第2時（本時）

- ・学級共通のテーマから考えた4文字の言葉を使って、反復や呼びかけとこたえ、変化、音の重なりを使い、グループで、8小節のリズムアンサンブルをつくる。

〈学習形態の工夫〉

- ・一つのグループを5～6人にして、どの児童の考えも出しやすいようにする。
- ・児童の実態に合わせて話し合いの時間を設定する。

第3時

- ・つくったリズムアンサンブルを聴き合ったり、つなげて演奏したりして楽しさを味わう。

〈振り返りの工夫〉

- ・発表の場面では互いの作品の工夫を認め合ったり楽しんだりする場であることを意識させる。

5 本時案（全3時間中の2時間目）

ねらい ・リズムのつなげ方や重ね方を工夫して、言葉のリズムアンサンブルをつくる。

	<p>学習内容・学習活動</p>	<p>主(主体的な学び)・対(対話的な学び)・深(深い学び)</p> <p>↓</p> <p>具体的な児童の姿</p> <p>・留意点 ◇評価規準 (評価方法)</p>
<p>導入</p>	<p>1 学級全体を二つのパートに分けて、リズムアンサンブルを演奏する。 ○前時に学習したことを思い出す。</p>	<p>・反復や呼びかけとこたえ、変化、音の重なりについて触れておく。</p>
<p>展開</p>	<p>2 リズムアンサンブルをつくるうえでの条件を確認する。 ○4 文字の言葉を伸ばしたり縮めたりしたものを組み合わせる。 ○8 小節の長さをつくる。 ○反復や呼びかけとこたえ、変化、音の重なりの中から2つ以上使うようにする。</p> <p>3 グループごとにリズムアンサンブルづくりをする。 ○言葉のカードを並べたり、ワークシートに書き込んだりしてつくる。 ○つくり終わったら練習する。</p>	<p>・学級全体のテーマを前時に「文房具」と決め、あらかじめ考えておいた言葉を確認する。</p> <p>主 対</p> <p>グループでつくる時のヒントとして、言葉の並べ方の例示をする。児童の疑問点を確認し、学級全体でどうすればよいのか共有しておく。</p> <p>↓</p> <p>グループでアイデアを出し合い、どのように聞こえるのか確かめながらリズムアンサンブルづくりをしている。(行動観察)</p> <p>・活動時間を十分に確保する。 ・実際に言葉を書いて、どのように聞こえるのか確かめながらつくるようにさせる。 ・言葉のカードを各グループ分用意しておき、どのようにつなげるか、視覚的にもグループ内で共有しやすいようにする。 ・声の高さや強さなど、出し方も工夫させる。 ◇言葉のリズムを反復や呼びかけとこたえ、変化、音の重なりからくるよさや面白さを生かして、どのようにつなげていったらいいか思いや意図をもっている。(思・判・表/行動観察)</p>
<p>まとめ</p>	<p>4 次の時間に各グループがつくったリズムアンサンブルを聴き合うことを知る。 ○自分たちのグループの工夫したこと、アピールポイントなどを言葉でまとめておく。</p>	<p>・言葉でまとめておくことで、自分たちのつくったリズムアンサンブルのアピールポイントを認識させたり、ほかのグループの作品のよさや面白さを感じ取りやすくさせたりする。</p>

グループでリズムアンサンブルをつくろう

主
対
↓

グループでアイデアを出し合い、どのように聞こえるのか確かめながらリズムアンサンブルづくりをしている。(行動観察)